令和7年度山形県パスポート取得促進事業関係業務に係る

企画提案募集への質問に対する回答

質問事項 1	仕様書 5. 業務内容 (3) において、「支援金原資の管理及び支給の作業は発注者が行う。」とされているが、支援金として使用する QUO カード Pay を申請者へ支給するためのデータを集約し納品するのみでよいか。 また、QUO カード Pay の購入（業務完了前の支払を含む）は発注者が行い、受注者が行う必要はないと認識してよいか。
回 答 1	支給直前までの業務をお願いしたいため、申請者のデータ集約後、QUO カード Pay のシステム上にて集約したデータを登録するまでの事務作業を委託します。 ご認識のとおり、QUO カード Pay の購入は発注者が行います。
質問事項 2	新規発給であることの審査をどの程度厳密に行う必要があるか。 ・切替発給でないことの証明を求める必要があるか ・失効後の新規発給、公用旅券から一般旅券への切替を対象とするか ※審査にかかる工数に影響するため、過去事業での審査基準があれば参考にしたい。
回 答 2	県民が初めてパスポートを取得する際に支援することとしており、失効後の新規発給や結婚等による名前変更の再発行は支援の対象となりません。 公用旅券の取得経験がある場合でも、初めての一般旅券取得であれば対象とします。 過去の事業では、申請フォームにて初取得であることを申告いただき、疑義がある場合は申請者に対する聞き取りにより確認を行いました。